

第91号  
2020年5月15日  
令和2年

障がい者就労継続支援（B型）事業所



合同会社 仲大道 管理者 伊波栄信

広報

〒905-0411  
今帰仁村字天底91  
電話・Fax056-3901

緊急事態宣言31日まで

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、玉城デニー知事は休業要請2週間延長した。この新型コロナウイルスはクルーズ船寄港後、感染が世界中に拡大し、富豪国ウイルスではないか？ そう書きつづも、感染が今帰仁村内、故郷の石川伊波に感染しないことを願う。

新型コロナウイルスはイタリア、イギリス、ベルギー、アンリカ、中国・韓国では多くの死者が出ている。これに対し、北朝鮮・検疫省は「感染者0」という。

あの、金総書記さえ、死亡説が流れたが、本人は感染をさけるため、山奥で馬に乗つている姿が報道された。その後、北朝鮮でも死者が140人、当局の発表であり、信用できないが。

緊急自体宣言が延長され、私たち村民も自肅しましよう。今月中には10万円が届くでしよう。その時は村民が笑える「笑い話」になるようしよう・・・

“がんばろう”利用者は新型コロナにも感染が無く幸いで、ストレスが無いよう。これからは脳梗塞にとつて最も嫌な梅雨入りです。梅雨が明けると、暑い夏がやってきます。

伊波

がんばろう利用者はコロナにも負けず感染予防しながら元気に出勤して頑張っていますよ！ 今月号は、木工作業する利用者の力作を紹介します。



タイトル：焼失してしまった首里城の復元画

この作品以外にも、いろんな木工商品作っています。こども用椅子・棚・壁時計や表札などなど…ぜひ事業所に見にきてくださいね！



タイトル：エレキギター風かんからさんしん



首里城の絵、  
完成まで3ヶ月！

去年から、首里城を描いていた俊哉さん、ある日首里城の火災のニュースをきき「まさか 焼失するなんて！！」とびっくりする。今はなき首里城の復元絵となりました。



ナウいでしょ！

県福祉展の木工部門で「かんからさんしんとさんしん立て」で見事金賞を受賞した信夫さん、今回はかんからさんしんをユニークなアイディアでエレキギター風に仕上げています。

がんばろう仲間でアイディアを出し合って、ユニークな作品を作って楽しく作業していきましょう！！

4月24日（金）に4月生まれの誕生会を開催いたしました。

4月5日生まれ：安谷屋 満さん お誕生日おめでとうございます。



プレゼント  
ありがとうございます

去年の誕生会では、ローソクを指でつまんで消して笑かしていた安谷屋さん、今年はふつうでした（笑）



ケーキ  
おいしいさー。



今月もおいしいケーキをいただきながら、わいわいがやがやゆんたくして楽しく誕生会に参加しました。

## 新たな古里

伊波栄信

障がいを背負つて十年の節目に昨年来計画していたことが実現！ 先月下旬、長年住み慣れ親しんだ石川の地から山原の地・今帰仁村へ転居、環境が一変した。古里を離れた大きな要因は、今年十二月で十年目を迎える脳梗塞による後遺症があり、リハビリと健康維持に最適な地として決断した。

朝目覚めると家内と一緒に自身の不自由な足でも二分そこらで行ける村総合運動公園へと向かう。そこではカラスの甲高い鳴き声や小鳥のさえずりに迎えられ、これまでなかつた歓迎を受けている。緑の木々に囲まれた運動公園周辺を散歩している途中、目前に迫る古宇利島の方向から朝日を浴びながら早朝のさわやかな風が体に吹きつけてくる。運動公園では時より出身はどこ？ と聞かれ、「石川市」と答える。「うるま市」と答えるよりもその方が相手に伝わりやすく親しみがわいてくる。うるま市は合併して三年余、私の胸の中にある古里はやはり石川市である。しかし、まだ一ヶ月足らずの今帰仁の地であり、古里石川を思う心境になるのはまだ先のようである。新たな地は騒音のない静けさと新聞チラシの少なさをまず実感、今は見るもの聞くものすべて新鮮で地の環境に接している。

小生は今年の正月、本欄に障がい者は、「十年の計は元旦にあり」と投稿しましたが、新たな地で障がいにより学び得た体験を生かし目標を持つて生きたい。そしてこの地が誇れる古里になれるよう、さらに生まれ育った古里・石川の地を忘れないように！

2008・9・15

沖縄タイムス掲載

（入力・神谷）

## ☆ 7月のクイズ

## ☆ 5月のクイズ

新たな古里とはどこか？

- 1・今帰仁
- 2・石川市
- 3・古宇利

正解に○を付け、名前を書いて出して下さい。

## ※利用者へ連絡！！

都合で休む時は10時間で連絡して下さい。

昼食の注文があり、その時間を過ぎると、キャンセルが出来ません  
よって、昼食代を工賃から引きます。